

糖尿病と腎臓 糖尿病腎症のおはなし

糖尿病三大合併症の一つ、「糖尿病腎症」。自覚症状がないままゆっくりと進行するこの病気は、悪化するほどに治療が複雑化するため、早い段階から適切な予防・治療を行うことが重要になります！

腎臓って？

腎臓の主なはたらきは、

①血液中の老廃物濾過(ろか)と尿の生成

②体内の水分と電解質を調整

③ホルモンの分泌と調整

があります。

このうち最も重要なものは、「血液中の老廃物濾過と尿の生成」です。腎臓は糸球体(しきゅうたい)と呼ばれる細小血管の塊が集まった組織で、この糸球体一つひとつで血液の老廃物が濾過される仕組みになっています。

腎臓のはたらきが低下すると・・・

ところが糖尿病で高血糖が続くと、細小血管が傷害され、糸球体の濾過機能が徐々に低下していきます。濾過機能が十分にはたらかないと体内に不要な老廃物がたまり、また本来は濾過されないはずのたんぱくなどの成分が尿中に排泄されるようになります。この状態を「糖尿病腎症」と呼びます。さらに障害が進行すると、糸球体の濾過機能は全くはたらかなくなり、腎不全になります。腎不全になると全身のむくみが出現します。

腎臓の濾過機能低下を知るには！

早期に自覚症状から腎臓の濾過機能低下を知ることはできません。むくみなどの自覚症状が現れるのは、腎症がある程度進んでからです。定期的な採血や採尿検査を受けて濾過機能が十分にはたらいているかを確認する必要があります。

具体的な検査は・・・

検査項目		検査の意義	基準範囲
尿検査	尿たんぱく	たんぱくは、体にとって重要な成分ですが、腎臓の濾過機能低下とともにたんぱくが尿に漏れでてきます。	(-)
	尿微量アルブミン	アルブミンは、たんぱくに比べて早期の腎臓の濾過機能低下を知ることができます。	30未満 mg/g・Cr
血液検査	尿素窒素	濾過機能が低下して老廃物を排泄する能力が低下すると、血液中に尿素が残り、この値が高値を示します。	5.0～ 23.0 mg/dL
	クレアチニン	濾過機能が低下して老廃物を排泄する能力が低下すると、血液中にクレアチニンが残り、この値が高値を示します。	0.7～1.3 mg/dL



元気なじんぞうくん



弱っている
じんぞうくん

糖尿病瓦版

平成二十五年四月版(隔月発行)
春日井市民病院
糖尿病センター発行

臨床検査技師
後藤・大竹・加藤

